

8-4-19 I T S 専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会を9回（4、5、6、8、9、10、11、12、1月）開催した。専門委員会を開催しない月もE-mailを活用し、協議と情報交換を実施した（WGの月次報告、指示事項の周知・対応等）。

(2) 勉強会・活動報告会

web セミナー方式で、年次報告会・勉強会を実施した。MaaS、ライドシェアに着目して、以下2名の有識者を招き、ご講演頂いた。

- ・一般財団法人計量計画研究所 理事 兼 研究本部企画戦略部長 牧村 和彦 様

演題：MaaSの最新動向とコンサルタン
トへの期待

- ・博報堂 テーマビジネスデザイン局局長補佐
／富山県朝日町次世代パブリックマネジメ
ントアドバイザー 畠山 洋平 様

演題：人口減少社会における、これか
らの公共サービスの実現 ～マ
イカー交通【ノッカル】からは
じまる挑戦～

(3) WG 活動

a) ITS に関わる技術、施策の調査

交通・ITSに関連する新たな技術的・社会的な潮流である地方創生、まちづくり、道路防災に着目し、最新動向を収集するとともに、今後、建設コンサルタントが取り組むべき課題等を整理した。

- ・ 地方創生、まちづくりに関する今後の建設コンサルタントの役割として、地域特性やニーズを踏まえた総合モビリティ戦略の策定・合意形成支援、スマートモビリティの導入支援、デジタルインフラの設計・構築支援、データ分析／予測モデル／施策評価／改善提案を整理
- ・ 道路防災に関する今後の建設コンサルタントの役割として、地域特性に応じたBCP策定・BCP訓練支援、避難計画の策定、災

害発生時における各種情報の迅速な収集・共有・提供する仕組みの構築支援、災害発生時における現地支援を整理

b) ビッグデータの活用可能性検討

近年各所で取得・蓄積並びに活用が進んでいるビッグデータについて、主に交通分野に関する最新動向を調査し、ビッグデータの活用可能性を検討した。

- ・ ビッグデータを提供する各社に個別問い合わせを行い、詳細を確認し、15企業分のビッグデータカタログ（名称、データ対象者・対象車両、データの特性、サービス事例、分析事例、コンサル業務でのデータ活用可否等）を作成
- ・ カタログ掲載企業（2社）と、データの詳細を確認し、データ活用の可能性等について意見交換する会を委員会内で実施
- ・ 能登半島地震でのビッグデータの活用事例を調査

c) 持続可能な次世代モビリティの調査

新たなモビリティとその実装をサポートする法制度について、国内外の事例・動向・取組について幅広く調査を実施した。

- ・ 自動運転に関わる動向
- ・ 多様化するドローン
- ・ モビリティに関わる法の動向と課題
- ・ 海外モビリティの動向
- ・ 複雑化する小さなモビリティ
- ・ 次世代モビリティのとりまとめ

2. 次年度の活動について

次年度も今年度の検討テーマを継続して検討し、以下の活動を実施する。

- ・ WGの定例的活動
- ・ WG以外のITSに関連する諸テーマの検討
- ・ 上位委員会からの指示事項への対応や関連委員会、WG等と連携した検討
- ・ 勉強会・講演会の開催

（ITS専門委員会委員長 松本 章宏）